

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 津山工業 高等学校
実践場面	ソフトボールインターハイ臨時駐車場整備プロジェクト
実践日時（時期）	令和7年5月～7月
対象生徒（学年）	土木科3年生4名（科目：「課題研究」）
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 山陽ロード工業株式会社と連携 ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input checked="" type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他

実践の内容

1. プロジェクトの背景と目的

令和7年7月から8月にかけて津山市で開催された「ソフトボールインターハイ」において、勝北中学校が臨時駐車場として利用されることが決定され、津山市実行委員会から約100台分の駐車場整備（白線引き）の依頼を受けたことが、本プロジェクト始動の契機である。



2. 実施概要

- 対象生徒：課題研究に取り組む「道路パトロール班（4名）」および「ドローン班（4名）」の計8名
- 協力企業：山陽ロード工業株式会社
- 施工日：令和7年5月2日、6月6日、6月13日、7月10日



3. 主な活動内容

生徒は山陽ロード工業（株）の指導のもと、専門的な施工手順に従って、以下の作業を行った。

- 【STEP 1】清掃：塗料の定着を良くするため、施工箇所の汚れを徹底して取り除く。
- 【STEP 2】作図：チョークラインを用い、正確な白線の位置を割り出す。
- 【STEP 3-4】縁取り・塗布：養生を施し、専門の塗料を用いて塗布作業を行う。
- 【STEP 5】仕上げ：養生テープを剥がし、鮮明な白線を完成させる。



実践による効果等

- 過酷な暑さの中での作業となったが、生徒たちは大きな達成感を得ることができた。
- 一見単純に見える作業の中に、多くの専門技術が凝縮されていることに気づき、実体験を通して路面整備について理解できた。
- 地元で開催されるインターハイに直接貢献できることに強いやりがいを感じる機会となった。
- 教室では得られない、実際の現場ならではの産業界と連携した「リアルな学び」を経験することができた。